

会議等名	平成29年度 第1回 海老名市総合計画審議会
日時	平成29年4月20日(木) 14:30~16:00
場所	海老名市役所 3F 政策審議室
出席者	委員：桐生委員、小林委員、武井委員、並木委員、深須委員、吉岡委員、 内山委員、勝田委員、館委員 (欠席：今泉委員、萩原委員、藤田委員、杉山委員) 事務局：財務部長 柳田 理恵 財務部次長 伊藤 修 参事(特命・財政担当参与) 清水 昭 企画財政課長 清田 聡 企画財政課政策経営係長 石田 恵美 企画財政課政策経営係主事 関野 大輔 傍聴者：なし
1 委 嘱	市長挨拶
2 開 会	
3 会長及び会長職務代理者の選出について	会長 : 小林 隆 委員 会長職務代理者：藤田 才 委員
4 議 題	(1) 海老名市第四次総合計画の概要について 海老名市第四次総合計画の概要及び海老名市第四次総合計画の延長に基づき、事務局から説明。 <質疑・意見等> (委員) 海老名市かがやき持続総合戦略(以下「総合戦略」という。)の人口減少対策とは、少子化対策又は移住対策を図る計画なのか。 →現在、本市の人口は微増傾向にあるが、将来的には人口減少が避けられない状況である。総合戦略において、少子化対策や若者の定住策等様々な側面から人口減少対策を定めている。 (会長) 総合戦略の計画期間と総合計画の計画期間について、相違があると事務局より説明があったが、総合戦略がどのようなものなのかを理解するため、計画概要について事務局より説明をお願いしたい。 →海老名市人口ビジョン・かがやき持続総合戦略 概要版に基づき、事務局から説明。 (委員) このような計画を策定する際に、本市の面積・経済力・人口等を鑑み、市民が快適に暮らせる適正人口比率を想定しているのか。 →快適に暮らせることについて、人によって捉え方が異なるが、現在、本市では、2060年で129,000人の人口維持を目指している。安定的な行財政運営を図っていくためには、出生率を高めながら生産年齢人口を保っていくことだと考えている。それにより、市民が快適に暮らせると感じてもらえるよう、人口ビジョ

ンを策定した。

(委員) 合計特殊出生率とは何を指すものなのか。

→人口統計上の指標で、一人の女性が一生に産む子どもの平均数を表している。女性が出産可能な年齢を15歳から49歳と規定し、それぞれの出生率を算出し、足し合わせることで、一人の女性が一生に産む子どもの数を近似的に求めたものの。

(2) 海老名市第四次総合計画 基本構想について

海老名市第四次総合計画 基本構想に基づき、事務局から説明。

<質疑・意見等>

(委員) 資料を拝見すると、年少人口がある程度一定で推移している。年少人口が一定で推移すると老年人口の割合も今後一定に推移するのではないかと考えるが、生産年齢人口が減少するのは、他自治体に出てしまうからでないか。

(委員) 生産年齢人口を留めるには働く場所等について考える必要がある。今後、2年間を見ると将来人口135,000人の達成は比較的難しくないと思う。海老名市は若者にも魅力あるまちであるため、転入してきた若者をどのようにして留めるかを考える必要がある。

(委員) 20代の多くは、地元に残らず、都市部に出てしまう。一方、老年人口に区分される年齢の方も、自分の土地で新しく農業を始める方もおり、生産年齢人口として地域を盛り上げてくれている部分もある。

(委員) 海老名市は交通の便が良い反面、生産年齢人口が外に出てしまうという一面もあるのではないかと思う。

(会長) 総合戦略の基本目標では、まちの魅力向上とシティセールスの推進として、市の魅力をアピールする取り組みがあるが、総合計画にはこのような取り組みは盛り込まれているのか。

→総合計画策定時は、シティプロモーション自体がなかったため、盛り込まれていないが、2年延長の中では、シティプロモーションの要素を盛り込んでいきたいと考えている。

(委員) 産業面からすると、大企業が進出してくると、雇用促進や転勤者等がその地域に住むことが多くなる。また、法人税等での協力や、にぎわい創出として工場見学や各種イベントの参加を通じて、市の魅力を発信している。

(委員) 海老名市は大規模店舗があることから、住んでいる方は便利に感じていると思う。一方、個店からすると、客が減っている状況にある。それが原因かわからないが、後継者問題を抱えている個店が多い。また、後継者がいても労働力を確保できないといった問題もある。

子どもを育てながら働く環境づくりとして、無料の社内保育所を設置し、女性の働き手を確保している企業もあるが、保育士や場所の確保といった課題が多くあるため、今後の総合計画にどの程度盛り込めるかが課題であると考えている。

もう一点、有事の際には各地から多くの物資が届けられるが、その物資を一時保管する場所問題やその物資を各避難場所等に搬送する道を確認するのが困難であると聞いている。まちづくりは、「明るいまちづくり」と「いざという

ときのまちづくり」の両面が必要であると考える。

(会長) これまで、委員より多くのご意見をいただきました。まず、子育ての環境づくりとともに、安定して働ける環境づくりによる生産性を高める必要性、地域地域の活性化、後継者問題等総合戦略策定時も議論となったが、2年延長の総合計画にも総合戦略の4つの基本目標を盛り込んでもらえるよう配慮いただきたい。

(3) その他

今後のスケジュールに基づき、事務局から説明。

<質疑・意見等>

(委員) 次回までに委員が準備することはあるか。

→特にはないが、総合戦略の概要にお目通しいただき、総合計画に不足が生じているものについてご意見をいただけるようご準備いただきたい。

5 閉 会

以 上